

(傍聴資料)

# 令和8年竹田市議会第1回定例会

## 代表質問事項

令和8年3月3日

竹田市議会

# 代 表 質 問 の 日 程

3月3日(火)

順番	議席	議員氏名	会派
1	8番	阿南智博 議員	忠恕ユニット
2	9番	後藤建一 議員	創生会
3	7番	工藤忠孝 議員	前進の会

# 令和8年第1回（3月）定例会代表質問事項

【9月12日（木）】

質問順位 1 番

議席番号 8 番 阿南 智博 議員（忠恕ユニット）

発言事項	発言の要旨	答弁者
<p>1. 市長の所信表明の内容について</p>	<p>(1) 人口減少に抗う政策について</p> <p>(ア) 日本創成会議や人口戦略会議が公表した「消滅可能性自治体」からの脱却を目指すのか。</p> <p>(イ) 自然動態としては、出生と死亡しかない。子育て世代が暮らしやすい環境や、次世代を担う若者に一人でも多く竹田で暮らしてもらうことが重要だが、その取組を伺う。</p> <p>(ウ) 高齢者の活力や健康の増進を図ることも重要と考える。主な取組を伺う。</p> <p>(エ) 社会動態では、住民の転出抑制と転入促進が考えられるが現状の取組を伺う</p> <p>(オ) 子育て世代を対象とした潜在住民（市外住民）への転入促進策にお考えがあれば伺う。</p> <p>(カ) 転入促進に向けては、ターゲットの設定やシティセールスの対象地域を明確にすることが重要と考える。お考えを伺う。</p> <p>(キ) 若者世代の移住のためには、住宅地と子育て環境の整備が不可欠と考えるが、宅地整備の考えはないか伺う。</p> <p>(2) シティプロモーションについて</p> <p>(ア) シティプロモーションの第一歩は認知度だと言われる。竹田市の認知度向上の取組を伺う。</p> <p>(イ) プロモーションは営業活動でもある。竹田市を売り込むための地域イメージ（ブランド）の構築に向けて、「竹田市と言えば〇〇」といった前面に打ち出すプロモーション戦略があるか。市長にお考えがあれば伺う。</p> <p>(ウ) プロモーションに関するアドバイザー委託の内容について伺う。</p> <p>(エ) 今回の機構改革でどこまでのシティプロモーションを想定しているのか伺う。</p>	

# 令和8年第1回（3月）定例会代表質問事項

【9月12日（木）】

質問順位 2 番

議席番号 9番 後藤 建一 議員（創生会）

発言事項	発言の要旨	答弁者
<p>1. 財政状況について</p> <p>2. 総合計画について</p> <p>3. 市民生活の支援について</p>	<p>(1) 中期的な財政収支の試算について</p> <p>(ア) 財政収支の試算(基準日:令和7年10月1日)で、今後5年間の竹田市財政収支の見通しは、約14億9,600万円の赤字である。経常収支比率も今後5年間は、95%を超え、厳しい状況になる。赤字に対して経費削減策も含め、どのような対策を講じるのか市長に伺う。</p> <p>(イ) 2050年に人口が半分になると試算される。長期的に安定した財政維持にどう取り組むのか伺う。</p> <p>(1) 第2次竹田市総合計画について</p> <p>(ア) 基本構想10年間、実施計画で前期基本計画5年間、後期基本計画5年間。基本計画で示した施策を事業として実施するために、3年間で期間とするローリング方式で毎年策定するとあるが、具体的にどの事業を見直したのかを伺う。</p> <p>(イ) 後半5年間で総合計画の実現の見解を伺う。</p> <p>(ウ) コンパクト+ネットワーク型の竹田版コンパクトシティとは何かを伺う。</p> <p>(エ) 対象者と理解促進はどう行うのか。</p> <p>(1) 生活用水の確保について</p> <p>(ア) 上水道、簡易水道等、市民生活に欠かせない水の確保について、整備や維持管理の今後の方針、経営基盤強化についての将来的なビジョンを伺う。</p> <p>(イ) 地域で管理している給水設備の老朽化対策や維持管理に関する支援を含めた市としての考えは。</p> <p>(2) 地域医療について</p> <p>(ア) 本市では、高齢化が進んでおり、地域医療が重要視される。地域医療体制と維持についての見解を伺う。</p> <p>(イ) 高齢化が進む中、医療ケアやリハビリテーションを提供し、在宅復帰を目指す施設、療養が必要な方向けの医療施設等は重要と考える。介護保険施設維持についての見解を伺う。</p> <p>(ウ) 無医地区に対してどのような対策をするか伺う。</p> <p>(エ) 障がい者の方に対して、生活支援、相談窓口、就労支援などニーズに対応した障害者福祉施設に対してどのような支援をしていくのか見解を伺う。</p>	

# 令和8年第1回（3月）定例会代表質問事項

【9月12日（木）】

質問順位 3 番

議席番号 7番 工藤 忠孝 議員（前進の会）

発言事項	発言の要旨	答弁者
1. 市長の政治姿勢について	<p>(1) 市政運営と行財政改革について</p> <p>(ア) 令和8年度にあたり、これまでの総括を踏まえ、どのような決意とスピード感を持って「竹田の未来」を切り拓くのか伺う。</p> <p>(イ) 複雑化する行政課題に即応するための機構改革について、組織の機動力を高め、市民サービスをどう向上させるのか。その狙いを伺う。</p>	
2. 人口減少対策と多文化共生の推進について	<p>(1) 持続可能な地域社会の構築について</p> <p>(ア) 人口減少対策の重要課題として、外国人材を単なる労働力ではなく、地域を支えるパートナーとしてどう迎え入れるか。技能実習生についての今後受け入れ人数の上限を含め、多文化共生社会のビジョンを伺う。</p> <p>(イ) 定住促進の観点から、将来的な家族帯同が可能となる「特定技能2号」への移行を目指す考えはあるか。人口減少対策としての有効性を含め、市長の見解を伺う。</p>	
3. 地域経済の活性化について	<p>(1) 中九州横断道路の開通を見据えた戦略について</p> <p>(ア) 中九州横断道路の整備進展を最大の好機と捉え、本市の地理的優位性を活かした企業誘致をどう加速させるのか。物流拠点や産業用地の確保など、トップセールスに向けた市長の意気込みを伺う。</p>	
4. 災害に強いまちづくりについて	<p>(1) 指定避難所の機能強化とエネルギー確保について</p> <p>(ア) 近年の大規模災害の教訓を踏まえ、電力喪失に備えた指定避難所におけるエネルギー供給途絶のリスクと電力以外の熱源確保の必要性について、どのような危機意識と課題認識を持っているのか市長の見解を伺う。</p> <p>(イ) 分散型エネルギーとして有効な「災害対応型LPガスバルク供給システム」などの空調設備の導入を積極的に進め、避難所の生活環境改善と防災機能の強化を図るべきと考えるが今後の整備方針を伺う。</p>	